

集団カテゴリーの社会的構築 - 外集団同質性が生まれる時 -

宮原真由美・山岸俊男

キーワード：カテゴリー情報，外集団同質性，他者の行動予測

背景・目的

世の中には無数といえるほど多くの社会的カテゴリーが存在している。しかし，集団間の差別やひいき行動に関連している社会的カテゴリーの数は，人種，民族，性別，地位などの極めて限られたカテゴリーのみである。なぜ人は特定のカテゴリー情報のみを集団間関係において用い，その他の多くのカテゴリー情報は無視するのか。この問いに対する最も単純な解答は，人種，性別などの，差別と結びつきやすいカテゴリーは，他のカテゴリーよりも目に付きやすく顕著だから，という説明である。しかしこの説明は，特定の社会的カテゴリーがなぜ目に付きやすいのかという疑問を新たに生み出すことになる。そしてこの新たな疑問に対する解答は，顕現性の高い，つまり目立ちやすい社会的カテゴリーは，多くの人々が現実の社会において重要だと考えているカテゴリーであるという，トートロジー的説明に求められることになる。

本研究の目的は，このトートロジーから抜け出すための一つのアプローチを提唱し，そのアプローチから導かれる予測を検証することにある。本研究で提唱するアプローチとは，特定の社会的カテゴリーの顕現性の基盤を，そのカテゴリーの持つ他者行動の予測への貢献度にあるとするアプローチである。すなわち，ある特定の社会的カテゴリーが顕現性を持つのは，そのカテゴリーを用いることで，そのカテゴリーに所属する他者の行動の予測可能性が向上するからだとするアプローチである。